

日本仏教と論義

龍谷大学アジア
仏教文化研究叢書13

楠 淳證・野呂 靖・亀山隆彦 [編]

A5判・上製・六二二頁・本体七、五〇〇円＋税

2020年3月刊行



「……従来ともすれば特定の祖師による思想の
説明が中心となってきたが、論義は特定の人
物の思想に還元できない多様な人々の問答の
総体であり、この点に大きな特徴がある。複
数の、多様な人物間の問答によって立ち顯れ
る教理に対する分析は、従来の祖師研究を相
対化する意義を有している……」（編集後記より）

序文

（楠 淳證）

第一部 法相・華嚴の論義

法相論義と仏道——『成唯識論同義抄』に
見る不成仏種姓の会通 （楠 淳證）
法相論義「真報主」と源信〈唐決〉——
輪廻の主体をめぐる二大質問の一大詳論
（西山良慶）

因明論義の形成と展開——善珠における
論証主題（宗・paksa）・根拠（因・heu）・喻例
（喻・distantia）の三支を中心として
（後藤康夫）

因明論義「有為相量」について
（蜷川祥美）

日本華嚴における龍女成仏義
（高田 悠）

高山寺所蔵『三生成道料簡』について
——附・翻刻 （野呂 靖）

第二部 天台・真言の論義

天台論義の基礎と文獻 （藤平寛田）
自受用身に関する天台論義から見える
もの （大久保良峻）

天台の論義書と談義書——『法華經』『三
大部』を中心に （渡辺麻理子）
宗性筆『法華文句第五卷抄』について
（松本知己）

論義の歴史と真言宗 （苦米地誠一）
東密の論義——新義の論義を中心に

東密論義と南都教学——三論宗との関係
を中心に （田戸大智）
中世東寺の教学と「論義」（亀山隆彦）

第三部 論義と諸文化

論義と宗論の文化史——宗教テクストの
マインドとしての論義 （阿部泰郎）
論義についてかたる南都の伝承——維
摩会と『春日権現験記絵』との相関
（近本謙介）

諸宗を語る天狗と八幡——その由縁と背
景的要因をめぐる （山口眞琴）
仏教文化としての相論資料——『恩覺奏
状』を中心として （三好俊徳）

論義の芸能とその展開 （石井公成）
江戸時代初期の御前論義の諸相
（ラポー・ガエタン）

十三世紀日本における戒律復興の異な
る解釈 （ポール・グローナー／亀山隆彦訳）

編集後記 （野呂 靖）
執筆者紹介
龍谷大学アジア仏教文化研究叢書13
刊行の辞 （楠 淳證）

Different Interpretations on the Revival of
the Vinaya in Thirteenth Century Japan
（Paul GRONER）

【編者略歴】

- 楠 淳證——1956年生まれ、兵庫県出身。龍谷大学文学部仏教学科卒業、龍谷大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得満期退学。龍谷大学専任講師、助教授を経て、現在、龍谷大学文学部教授、龍谷大学アジア仏教文化研究センター長。専門は仏教学、唯識教学。
- 野呂 靖——1979年生まれ、大阪府出身。龍谷大学文学部仏教学科卒業、龍谷大学大学院文学研究科博士課程修了。博士（文学）。浄土真宗本願寺派総合研究所研究員、龍谷大学専任講師等を経て、現在、龍谷大学文学部准教授。専門は日本仏教、華嚴教学。
- 亀山隆彦——1979年生まれ、奈良県出身。香川大学経済学部卒業、龍谷大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士（文学）。米国仏教大学院博士研究員を経て、現在、龍谷大学非常勤講師、龍谷大学アジア仏教文化研究センター博士研究員。専門は日本仏教、真言密教。

ご注文は FAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

仏 教

注文書 (書店名)		様 冊	
ご担当		法藏館	
楠 淳證・野呂 靖・亀山隆彦 編 龍谷大学アジア仏教文化研究叢書13 日本仏教と論義 ISBN978-4-8318-6380-5 C3015		七、五〇〇円＋税	
お名前	お電話	ご住所	